2022 助産師レター

滋賀県看護協会助産師職能委員会

皆さんこんにちは、2022年もあとわずかになりました。「助産師レター」は 、
平成16年からスタートして、今回が記念すべき「50号発刊」となりました。
このレターを今迄繋いでくれた、歴代の助産師職能の皆様と、読んで頂いた皆様、
そして郵送やコピーに携わって頂いた看護協会の方々に感謝致します。これからも、
皆さんにより良い情報をお届け出来る様に頑張りますので、宜しくお願い致します。

報告

≪全国助産師交流集会≫　2022年　6月9日　幕張メッセ　対面で開催

★「コロナ渦での妊産婦の状況は、新型コロナ感染症の影響でこれ迄以上に妊産婦は孤立化、2021年の出生数は81万人と過去最低。少子化等の影響で分娩取り扱い施設が減少した。
★健康寿命と平均寿命の差において女性は12年あり、何らかの健康課題を抱えながら生活している。人生各期おける健康課題あり、ケアニーズは高くなっている。
★医師の働き方改革の中、少子化や産科病棟が撤退していく中、さぬき市民病院の、「院内助産」への取り組みが、助産師のモチベーションを上げたという報告もあった。

≪第1回全国委員長会議　ZOOM開催≫

★助産師の活躍推進では、「母子のための地域包括システム」推進（推進に向けた手引き2021年11発刊）
★医師とのタスク・シフト／シェア　➡「院内助産・助産外来推進フォーラム」の開催　2023年1／29（ZOOM開催）
★「助産師の活動実態調査」令和4年9／1～9／30（回答率30%）
★アドバンス助産師申請要件の変更　➡更新申請で分娩介助等の実施例数は要件ではない
★生涯に渡る女性へ支援　➡女性の健康支援に向けた国の動き（ヘルスラボ）

≪地区別委員長会議≫2022年　10月18日　ホテル日航プリンセス京都

★コロナ渦での妊産婦、家族の支援と、全女性へと支援が必要
★院内助産は中々進まない現状。しかし、妊産婦の分娩施設を選ぶ基準は、「院内助産のある施設」が26%と最も多かった。手厚い看護を「期待しての院内助産の評価だったと考える。
★産後ケアは、どの府県も格差があり、進まない現状である。

日本のお産を守れ第２弾
～院内助産・助産師外来推進フォーラム～ ZOOM

2023年1月29日（日）
日本看護協会HP参照

助産師職能集会

2023年1月28日（土）
9:30～13:00
①滋賀県の周産期医療の現状と今後の計画
②産後ケアの現状と課題
場所：滋賀県看護協会
申し込み期限：2023年1月17日（火）まで

滋賀県母性衛生学会 総会・学術集会

2023年2月23日（木・祝）
ポストコロナの周産期医療
with コロナ～ポストコロナへ
場所：ニプロiMEP（アイメップ）
申し込み期限：2023年2月12日（日）まで

研修会報告

NICUケア

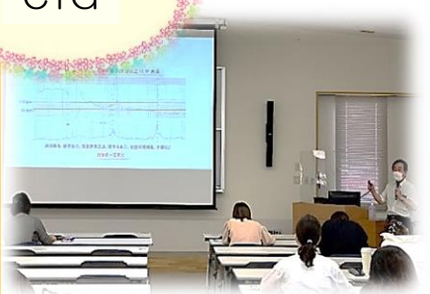
「新生児の病態生理と異常の対応を事例を通して学ぼう」8月17日（水）　41名参加
滋賀医科大学医学部附属病院　柳貴英先生 / 近江八幡総合医療センター　栗原通子先生

“繊細なNICUの具体的なケア内容を学べた”という意見が多く、大好評でした。
滋賀の新生児看護のスキルアップにつながったのではないかと思います。
県内の分娩場所は７割がクリニックでの分娩です。次年度はより多くのクリニック勤務のスタッフにも参加していただけるように、引き続き開催していきたいと思います。

CTG

「事例から学ぶ！胎児心拍数モニタリングの判読とリスク診断の対応」
10月1日（土）28名参加
滋賀医科大学医学部看護学科臨床看護学講座教授　喜多伸幸先生

“安全に分娩介助するにはモニターの正しい判読と対応する能力が欠かせないと改めて学びました”“実際の事例を学ぶことで、とても理解が深まった”などの意見が聞かれ、今後への継続の希望もあり有意義な研修となりました。

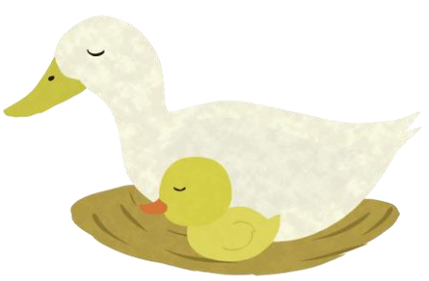


キャリアアップ

「助産師キャリアアップ応援事業研修」　新人助産師27名　ステップアップ3名参加

みなさんご存じですか？この研修は、全国でも珍しい研修会なんです！ 具体的には、委託をうけた滋賀医科大学附属病院の助産師さんが中心となり、“新人助産師”と“ステップアップ（4年目以上）”を対象に企画・展開されています。今年度も「CTG」「分娩介助」「乳房ケア」「キャリア形成」などについて、聴講・グループワーク・演習などで学んでいます（全4日間）。またステップアップは、「滋賀県の周産期医療の現状と課題」「ハイリスク妊娠・分娩管理」「フリースタイル分娩介助」「フィジカルアセスメント」などの講義に加え、力量・専門性を高めるために、さまざまな役割・あり方を知るための「施設研修」などが各々の意向に沿って計画されています（全5日間+施設研修数日）。9月には，共通講義として，まごころ助産院の山中美穂子氏から，メンタルヘルスを重視した実際のケア提供について学ばさせていただきました。
最終日は2月で、参加者さんの成長を聞かせていただくことが楽しみです。そして次の時代、滋賀県の助産師機能に貢献されることを心から期待しております！

今年もありがとうございました。
次年度も、どうぞよろしくお願い致します。



令和４年度助産師職能委員のメンバー

初田　聡美（副会長）大津市民病院
溝口　浩子（委員長）済生会滋賀県病院
平本　留見　滋賀医科大学医学部付属病院
高橋　真弓　大津赤十字病院
押谷　優子　長浜赤十字病院
三田村　七福子　淡海医療センター
西川　みゆき　近江八幡市立総合医療センター
花原　恭子　聖泉大学